

○目次
序 調査の概要
1. 生活の関心事
2. これからの望ましい「とちぎ」の姿
3. 「とちぎ」の現状評価と、これからの取組の必要性
4. 今後の行政サービス等と税金等の負担の関係
5. よりよい「とちぎ」づくりに向けた参加意向

序 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、次期総合計画の策定に必要な資料を得るため、生活の関心事、望ましい郷土の姿、「とちぎ」の現状に対する評価、行政の取組に対する期待等に関して、県民の意向を調査したものである。

(2) 調査の内容

本調査は、以下の質問項目によりアンケート調査を実施した。

- 問1 生活の関心事
- 問2 これからの望ましい「とちぎ」の姿
- 問3 「とちぎ」の現状評価と、これからの取組の必要性
- 問4 今後の行政サービスと税金等の負担の関係
- 問5 よりよい「とちぎ」づくりに向けた参加意向

(3) 調査の実施方法

アンケート調査の対象者は、20歳以上の県民として無作為抽出法により抽出し、平成16年2月に実施した。

配布数は、5,000票で回収数は2,286票（有効回収率45.7%）であった。

回答者プロフィール（2,286人）

〔男女別構成〕	〔年代別構成〕	〔職業別構成〕
男性 1,129人(49.4%)	20歳代 207人(9.0%)	農林水産業 129人(5.5%)
女性 1,143人(50.0%)	30歳代 315人(13.8%)	自営業・自由業 299人(13.1%)
無回答 14人(0.6%)	40歳代 435人(19.0%)	会社員・団体職員・公務員 758人(33.2%)
	50歳代 545人(23.8%)	パート・アルバイト 256人(11.2%)
	60歳代 447人(19.6%)	無職（専業主婦・学生含む） 703人(30.8%)
	70歳以上 326人(14.3%)	その他 121人(15.3%)
	無回答 11人(0.5%)	無回答 19人(0.8%)
〔地域別構成〕	〔県外居住経験別構成〕	
県北地域 584人(25.5%)	本県以外の居住年数が長い 264人(11.5%)	
県央地域 954人(41.7%)	他県より本県の居住経験が長い 809人(35.4%)	
県南地域 737人(32.2%)	本県以外の居住経験なし 1,166人(51.0%)	
無回答 14人(0.6%)	無回答 47人(2.1%)	